

事務事業名		国保診療所患者輸送車運行事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		
	施策名	08 生涯にわたる健康づくりの推進				
	基本事業名	02 地域医療の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成13 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 04 01 07 00 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1～4以外)		
所属	部課名	市民生活部国保医療課		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	近江 信敏				
	係名	越喜来診療所	電話			0192-44-2103
	担当者	佐藤 雅基	内線			なし
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。 ・主な業務は、綾里、越喜来地区における患者輸送車の運行。 ・事業費の内容は、患者輸送車運行業務委託料、患者輸送車維持管理費(修繕費、燃料費)である。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 患者輸送車の運行(綾里地区週2日、越喜来地区週5日、吉浜地区週5日) コロナ感染症対策の推進(運転席と患者席間に仕切り版設置、一般混乗者の利用自粛呼びかけのチラシ配布等) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 患者輸送車運行日数 日 イ ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 主に三陸地区の住民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 行政区域内人口 人 キ ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 患者輸送車利用者数 人 シ ス
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 早期に適切な医療が受けられる。	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="7">年度</th> </tr> <tr> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(目標)</th> <th>5年度(目標)</th> <th>6年度(目標)</th> <th>7年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費 投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>4,995</td> <td>5,319</td> <td>5,319</td> <td>5,319</td> <td>5,319</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>4,995</td> <td>5,319</td> <td>5,319</td> <td>5,319</td> <td>5,319</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>5,395</td> <td>5,719</td> <td>5,719</td> <td>5,719</td> <td>5,719</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤ 活動指標</td> <td>ア</td> <td>日</td> <td>328</td> <td>328</td> <td>298</td> <td>298</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥ 対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>5,692</td> <td>5,487</td> <td>5,487</td> <td>5,487</td> <td>5,487</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦ 成果指標</td> <td>サ</td> <td>人</td> <td>2,488</td> <td>1,934</td> <td>1,934</td> <td>1,934</td> <td>1,934</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単位	年度							2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	事業費 投入量	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	4,995	5,319	5,319	5,319	5,319		事業費計(A)	千円	4,995	5,319	5,319	5,319	5,319	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,395	5,719	5,719	5,719	5,719	⑤ 活動指標	ア	日	328	328	298	298	298	イ							ウ							⑥ 対象指標	カ	人	5,692	5,487	5,487	5,487	5,487	キ							ク							⑦ 成果指標	サ	人	2,488	1,934	1,934	1,934	1,934	シ							ス						
単位	年度																																																																																																																																																									
	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)																																																																																																																																																				
事業費 投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																								
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																								
	地方債	千円																																																																																																																																																								
	その他	千円																																																																																																																																																								
	一般財源	千円	4,995	5,319	5,319	5,319	5,319																																																																																																																																																			
	事業費計(A)	千円	4,995	5,319	5,319	5,319	5,319																																																																																																																																																			
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1																																																																																																																																																			
	延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100																																																																																																																																																			
	人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400																																																																																																																																																			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,395	5,719	5,719	5,719	5,719																																																																																																																																																			
⑤ 活動指標	ア	日	328	328	298	298	298																																																																																																																																																			
	イ																																																																																																																																																									
	ウ																																																																																																																																																									
⑥ 対象指標	カ	人	5,692	5,487	5,487	5,487	5,487																																																																																																																																																			
	キ																																																																																																																																																									
	ク																																																																																																																																																									
⑦ 成果指標	サ	人	2,488	1,934	1,934	1,934	1,934																																																																																																																																																			
	シ																																																																																																																																																									
	ス																																																																																																																																																									

事務事業ID	0304	事務事業名	国保診療所患者輸送車運行事業
--------	------	-------	----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
<b>① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・綾里診療所（開始当時は病院）、越喜来診療所の開設に伴い、患者の利便性向上を目的とする患者輸送車の運行を開始した。</li> <li>※運行開始年度は不明である。</li> </ul>	
<b>② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災にて越喜来診療所の車両が流出し、運行を中止していたため利用者数が一時減少したが、平成24年7月の車両導入後は利用者数が増加した。</li> <li>・平成26年度まではシルバー人材センターに委託していたが、派遣法により平成27年度から民間派遣会社に変更し事業費が増加となった。また、平成28年度からは派遣法の改正により、シルバー人材センターへの再委託が可能となったが、運転手の派遣の継続性の観点から、再度民間派遣会社への委託となった。</li> <li>・従来は綾里・越喜来地区の運行だったが、平成28年10月に綾里・吉浜診療所で派遣医師による診療を開始したことにより、越喜来・吉浜間及び吉浜地区の運行も追加した。</li> <li>・市内中心部から崎浜間における民間バス路線が、令和2年3月末に廃止されたことに伴い事業の需要が高まってきている。</li> </ul>	
<b>③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者など車で移動できない患者にとって無くてはならないものであり、このまま継続するよう求められている。</li> <li>・地域住民から増便について要望が出ている。</li> </ul>	

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	地域の医療ニーズに応えるべくこの事務事業を推進し、成果(病気の治療、健康の増進)をあげることで、市民一人ひとりの健康づくりの一環として重要な役割を果たしていることから政策体系と結びつく。
	<b>② 公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】
なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	三陸地区は公共交通機関が乏しく、また、診療所を利用する患者のほとんどは高齢者であり、いわゆる交通弱者であることから患者輸送車の運行は通院のきっかけとなる。	
<b>③ 対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	
対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	鉄道やバスはあるが、駅やバス停からの距離、本数の少なさを考慮すると、患者にとって必要な移動手段となっており、対象・意図は妥当である。	
有効性 評価	<b>④ 成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	診療時間にあわせた時刻表となっており、このまま継続することが望ましい。
<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	患者の大半が高齢者であり、公共交通機関が乏しいことから、廃止による影響は大きい。	
効率性 評価	<b>⑥ 事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	運行業務を外部委託しており、時刻表も診療時間にあわせた設定としている。さらに、派遣医師での診療対応期間や常勤医師の招聘など、医療体制の変更にあわせ適宜対応しているため、これ以上の削減は難しい。
<b>⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	運行業務を委託しているため、人件費としての削減余地はない。	
公平性 評価	<b>⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	運行業務は旧三陸町地区のみだが、公共交通機関の整備された旧大船渡市と比較し、行政が関与することによって均衡性が保たれることから、公平・公正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

<b>(1) 改革改善の方向性</b>		<b>(2) 改革・改善による期待成果</b>																				
<b>① 現状維持</b> 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<b>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</b>		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		●	×																		
	低下		×	×																		
今後の診療所の在り方にあわせ、事業の見直しについて検討が必要である。																						

**4 課長等意見**

<b>(1) 今後の方向性</b>	<b>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</b>
<b>① 現状維持</b> 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	現状のとおり継続して事業を実施する。